

第4回岩手県リン資源地産地消研究会のご案内

■目的

日本ではリン鉱石は産出されないため、全量を輸入に頼っていますが、世界的なリン資源の需要の高まりや産出国の資源囲い込み等により、入手は困難になりつつあります。

一方、国内では下水汚泥などのように高濃度のリンが含まれる廃棄物が排出されており、それらのリン資源の有効利用が求められています。

そこで、岩手県内で排出されるリン資源を地域内で利用するため、必要な再資源化技術および再資源化リンの利用方法の確立を推進し、リン資源の地産地消を図ることを目的として、「岩手県リン資源地産地消研究会」を設置し、その関連技術の紹介等を通じてリン資源地産地消の推進を図っていかうとするものです。

今回は、肥料用リン酸製造に下水焼却灰を利用する場合の技術的課題と題して、実際のリン回収事例を踏まえた講演をして頂くほか、事業者視点による岩手県内の鶏ふん資源の地産地消による活用、昨年度の環境省補助研究の成果であるリン酸亜鉛化成処理工程排出スラッジ肥料化検討、そして廃棄物をリサイクルする際にクリアすべき法規制について、それぞれ講演頂くことにいたしました。

■日時：平成24年2月9日（木） 13:10～16:15

■会場：岩手県工業技術センター 大ホール（盛岡市飯岡新田3-35-2、電話019-635-1115）

■主催：岩手県工業技術センター

■共催：INS環境リサイクル研究会

■次第

開会（13:10）

挨拶（13:10～13:15）

講演（13:15～16:15）

（1）肥料用リン酸製造に下水焼却灰を利用する場合の技術的課題（13:15～14:00）

講師：日本燐酸株式会社技術室 室長 用山 徳美 様

（2）鶏ふん資源の地産地消による活用について（14:00～14:45）

講師：東日本機電開発株式会社 代表取締役 水戸谷 剛 様

～ 休 憩（14:45～15:00）～

（3）リン酸亜鉛化成処理工程排出スラッジ肥料化検討（15:00～15:30）

～平成22年度環境省補助による研究成果より～

（地独）岩手県工業技術センター環境技術部 専門研究員 佐々木昭仁

（4）廃棄物のリサイクルにおける法規制について（15:30～16:15）

講師：岩手県環境生活部資源循環推進課 技師 鎌田 憲光 様

閉会（16:15）

■対象者：下水処理事業所、廃棄物処理業、肥料製造・販売事業所、県市町村の環境担当者・農業担当者等（定員100名）

■参加費：無料。ただし定員になり次第参加申込みの受付を締め切らせていただきます。

■申込み方法：平成24年2月2日（木）までに電話・電子メールでお申し込みいただくか、申込用紙に所定事項をご記入の上、ファックスでお申し込み下さい。

■その他：本研究会に登録された会員の方には、次回以降も研究会の開催案内をお送りしたいと思いますので、新規に登録される方は参加申込書の新規会員登録欄にチェックをお願いします。なお、会員登録されても会費は不要で、会員として義務は発生しません。

担当者（連絡先）

岩手県工業技術センター 企画デザイン部

菅原龍江（すがわりりゅうこう）（内線 732）

〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田 3-35-2

TEL 019-635-1115、FAX 019-635-0311

E-mail r-sugawara@pref.iwate.jp

送り先

岩手県工業技術センター 企画デザイン部

FAX 019-635-0311

(H24/2/9 開催) 第4回岩手県リン資源地産地消研究会

参加申込書

会社名・団体名

所在地 〒

電話番号

所属部門・役職	参加者氏名	電子メールアドレス	新規会員登録
			<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>

連絡事項

.....

.....

.....

.....

.....